

幹事報告

松川 健治 幹事

【幹事報告】

・4/25（土）は座間RC創立50周年記念式典です。レンブラント海老名で式典は15時30分からです。

【ポスティング】

- ・次第
- ・週報
- ・イニシエーションスピーチ資料
- ・新型コロナウイルスのお知らせ ※メールのあるかたへは、21日に送信しています。

【回覧】

- ・3/10夜間例会の出欠確認 ※例会で開催になった場合伝えてください！
- ・4/25座間RC創立記念式典出欠確認
- ・ホテルニューグランドより歓送迎会プランのお知らせ



東間様のお礼



満願成就

スマイルBOX

本日 ¥12,000 累計 ¥414,121

◆◆会長 伊藤彦二会員、幹事 松川健治会員／昨今報道等でご存知の通り、新型コロナウイルスのため第5グループのIMなど中止になりました。私達のクラブでも行事などの予定を自粛いたします。

◆佐々木和夫会員／愛妻の誕生祝いありがとうございます。今日は、山田さんのイニシエーションスピーチ楽しみにしています。

◆古木通夫会員／初めて乗った車は、コロナだったのに、コロナウイルス騒動はイヤになっちゃうよ！

◆増正之会員／三連休ゆっくり休ませていただきました。体調良好です。

◆伊藤健司会員／まもなく球春到来ですが、コロナウイルスの影響でどうなるのでしょうか？台湾への訪問も新しい情報が入り次第に随時お伝えしていきます。

◆古川毅会員／今日話し「傘寿」迄 ‘ オイチョ ‘ 私も棺箱（カンバコ）に足を入れる歳になりま

した。当人にとってはあまり嬉しくありません。でも、皆さん有り難う御座います。

◆石高誠一会員／忙しくて中々来れませんでした。来週3日も来れません。どうか許してください。

◆小金澤和夫会員／相原さん、3ヶ月間スマイル報告ありがとうございました。おかげ様で目標に近づいて来ました。来月から長谷川会員がスマイル報告をします。皆様、長谷川会員を宜しくお祈りします。

◆花岡淳子会員／3月3日の森川会員のリサイタルとても楽しみにしています。心にひびく歌声、聴かせて下さい。



相原聡会員

今後の情報	日付	時間	回数	プログラム内容
	3月 3日 (火)	12:30	2708	卓話
	3月 10日 (火)	18:30	2709	58周年記念例会 処：清風
	3月 17日 (火)			取止め例会
	3月 24日 (火)	12:30	2710	卓話

例会日	会員数	出席	出席%	欠席	欠席者名
2月 18日	32(7)	前々回	23	76.67	7 柳山、本田、石高、田辺、石井、原田、植松
2月 25日	32(7)	前回	21	72.41	8 本田、戸張、田辺、石井、上田、川本、原田、植松
3月 3日	32(7)	本日			

大和ロータリークラブ 週報

Yamato Rotary Club Weekly

<http://www.yamato-rc.org/>



【大和ロータリークラブ活動方針： 知り合いを増やし、奉仕の機会を広めよう】

例会場 / 北京飯店 4F : 会長 / 伊藤 彦二 幹事 / 松川 健治
 例会日 / 毎週火曜日12時30分～13時30分 : 会長エレクト / 富岡 弘文 副幹事 / 三浦 高義
 事務局 / 大和商工会議所内 TEL046-263-7926 : 事務局 e-mail / jimukyoku@yamato-rc.org

第2707回 2020年2月25日(火)

司会 / SAA 武田 茂 君
 斉唱 / 「それでこそロータリー」
 S.L. / 山田己智恵 君
 ゲスト / な し
 ビジター / な し



会長の時間

伊藤 彦二 会長

クラブの運営費で横浜瀬谷ロータリークラブと米山奨学セミナーに参加してきましたので報告を致します。

横浜瀬谷ロータリークラブ50周年の参加者の中にプロバスクラブ会員がおられました。そこで、このプロバスクラブとはどのようなものかお話しします。プロバスクラブは「世界各地のロータリークラブが、その社会奉仕事業の一環として退職者およびセミ退職者のために創った親睦団体で、義務として強制されない社会奉仕団体であります。プロバスクラブの会員はプロビアンと称します。元来、ロータリー会員を高齢で引退した人達のための親睦の場としてのプロバスクラブという意味合いがあり、ロータリーとの競合を避けるため、プロビアンは60歳もしくは65歳以上であるとされてきました。しかし、現在では他国の中にはそうした年齢制限を取り外し、また女性会員も歓迎され、英本国、カナダ、豪州・ニュージーランドなどでは、それぞれ男性のみ、女性のみ、男女混合の3種類のクラブに分類されています。会員の資格としては、かつて知的職業もしくは管理職にあった人々、もしくはその伴侶であることが望ましいとされています。現状では、元ロータリアンばかりのプロバスクラブも僅かに存在しますが、反対に、過去にロータリークラブと関係がなかった人々のみがプロビアンとして入会しているクラブも多いとのこと。では、プロバスクラブとロータリークラブとの関係は2008年、すべてのプログラムは世界各地にあるロータリークラブのスポンサーにより創立され、そういう意味で言えばプロバスクラブはロータリークラブが設立したクラ

ブであると言えます、しかしいったん創立した後はロータリークラブから独立した自治独立のクラブであると認識されています。実情ではロータリークラブが創立後のある期間スポンサーとしてそのプロバスクラブを資金的に援助している場合もあります。また社会奉仕の実践にロータリークラブとプロバスクラブが協力し、さらにはプロバスの事務所がロータリークラブの中にある場合も多いそうです。またロータリークラブの総本部である国際ロータリーはプロバスクラブの創立については関与していません。プロバスクラブとの関係についての公式意見表示もまれであります。事実、ロータリー発祥の地であり、ロータリーの活動が最も盛んな米国においても、プロバスクラブの数は今なお十数クラブに過ぎないようです。プロバスクラブ創立を認証する機関が無いので、プロバスクラブについての規約や規則に統一されたものはいっさい無く、各プロバスクラブによる任意の規約・規則により運営されています。」

次に、ロータリー米山記念奨学委員会寄付金の領収書について 寄付金領収書は税額控除、又は所得控除として使えます。普通寄附の領収書は年会費の中に含まれているので個人名で発行されています。これはロータリーの会員は企業でなく個人だからです。従って会社名に書き直し発行することはできません。特別寄附は本年度2万円をお願いしていますが「寄付金領収書を会社名で」という方は功労法人の区分になり寄付金領収書は会社名で発行されます。今年度は6月30日まで寄附を受け付けております。米山記念奨学委員会の皆様は特別寄附を預かる時は「個人寄付又は法人寄付」を聞いて下さい。寄附される会員の方どもちらかにご指定下さい。

卓話

「イニシエーションスピーチ」

山田己智恵 会員

家族の紹介

夫は中日本高速道路のSA・PAの営業を担当する中日本エクスという名古屋本社の会社執行役員をしており、名古屋に単身赴任中です。

子どもは娘が二人おりますが、就職で山口県周南市に配属された社会人1年生の次女、会社が近いという理由で新宿に結婚して住んでいる長女で、今家には私一人です

早くも家族がバラバラになりましたが、皆それぞれ自分の場所で頑張ってくれています。

うちはつきみ野8丁目にある2世帯住宅で、母は、昨年7月に亡くなりました。母は私が小さなころから他人の役に立てる人に、社会の役に立てる人に、そして輝いた人になりなさい。と口ぐせのように言いながら育ててくれました。

最後4年くらいは認知症になり、身をもってこれからの高齢社会の課題も教えてくれたと思います。とても感謝しています。

今回イニシエーションスピーチをするにあたり、中央林間一輪車クラブのことで議員活動や議会の仕組みについては、入れてほしいというリクエストがありましたので、そのふたつを中心にお話したいと思います。

中央林間一輪車クラブ

私は現在中央林間一輪車クラブの顧問をしています。

中央林間一輪車クラブは、交通事故撲滅大作戦にも参加していましたので、見て下さった方もたくさんいらっしゃると思いますが、一輪車で音楽に合わせ演技をするクラブです。一輪車の競技はスケートと同じようにスピード競技と演技があり、フィギュアスケートのイメージで、音楽・衣装・振付・表現と芸術性も大事にしています。

長女が小学校1年生の時、近所の中央林間小学校に週に1度地域の方が一輪車の乗り方を教えに来



てくれているとのことで通い始めましたが、それが中央林間一輪車クラブとの出会いです。

長女が小学校5年生の時に初めて親の会が立ち上がり、6年生当初から私が代表となり、中央林間一輪車クラブとしての本格的な活動が始まりました。

私が代表の間には世界大会が日本で開催され、クラブから年代別優勝者、準優勝者、3位入賞者などが続々と輩出、全国大会では最優秀賞である文部科学大臣杯を取るなど一輪車では全国に名高いクラブとなる一方で、私は大学で社会教育、地域社会学を学んできたことから、クラブの代表になるにあたり地域に貢献できるクラブを目標にきており、学校や高齢施設、地域行事からの依頼を積極的に受け、演技を披露し地域に根付くよう努めてまいりました。

10年間務めた一輪車クラブ会長は、10年前に市議員に立候補するにあたり退きましたが、現在はクラブの顧問として運営委員会にはできるだけ出席し相談にも乗っています。

また、いま一輪車の指導はOGメンバー5人がコーチとして担ってくれており、長女が監督で2週に1度は新宿から教えに来ており、次女は就職で山口に行くまではコーチをしていました。実は私が会長を退いてから人数も減り、入賞できなくなった時期もありましたが今また盛り返ってきています。

一輪車で演技をしたいと思う子供がいる限りは、

クラブが存続できるよう支援していきたいと考えています。

ぜひ、ロータリークラブとしても応援、よろしくをお願いします。

大和市教育委員

また、議員になる前に大和市教育委員を務めていましたが、これも一輪車クラブの代表、会長をつとめていたことが縁で、お話をいただいたと思っています。

教育委員時代に大きな課題だと思っていた発達障害の支援は、市議会議員になり、取り組んできたことの一つで、教職員の研修やデイジー教科書の導入など議会で提案し、実績となっています。特にデイジー教科書は全国でも初となる日本障がい者リハビリテーション協会の了解を得て、本市教育委員会から市内全小中学校特別支援学級に提供できる仕組みとなっています。

特別支援教育センターも昨年4月オープンし、これからも支援の必要な子ども達を支援していきたいと考えています。

大和市市議会議員

次に議員の活動についてお話ししたいと思います。私は2001年に大和市市議会議員に初当選、昨年4月の選挙で、皆様のご支援により3期目当選させていただき9年目となります。

議員にとのお話をいただいた時には、大変悩みましたが、議員活動を通して、社会のお役に立てるなら、それが使命と受け止めて、身を捧げるような思いで、腹を決めました。

ですから、自分の仕事を通して社会貢献するというロータリークラブの精神には、共感できます。議会報告の今回のご挨拶にも書かせていただきましたが、公明党の永遠の立党精神は、大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中に死んでいくです。

政治はどこまでいっても現実に暮らしている民衆

を離れては無いということ、忘れてはいけないということだと受け止めています。

そこで私が議員活動の中で一番大事にしていることは市民の声、市民相談です。

市民相談は本当に多岐にわたります。道路の穴やカーブミラー設置等交通安全にかかわることから離婚やDV、いじめ、経済苦といった個人の悩みに至るまで本当に様々です。

それらの問題解決のため市に要望したり、必要な機関につないだり、弁護士を紹介し一緒に相談に伺うことも多くあります。

そういった様々な市民のお声から、市の課題を捉え、議会の一般質問で取り上げ、質問提案をすることは大変多いです、大事にしています。

例えば、道路が暗いとの声が一時期大変多かった。そこで、蛍光灯とLED灯の電力量の違いから電気料金の差額で、市内全ての防犯灯を一度に明るいLEDに交換することを提案し、これは6年前に実現しました。

また、大和市では5年前から、がん患者の方のウィッグ購入に助成していますが、これも一人の方の髪が抜け落ちて辛い、高いウィッグを購入するのは大変だというご相談から、市で何かできることはないかと考え提案し、実現させたものです。

では、次に議会のしくみについて簡単に説明したいと思います。(資料参照)

あいサポート企業・フレイル予防

残りの時間で、12月議会で取り上げたフレイル予防の話とあいサポート企業についてお願いをしたいと思います。

<http://www.city.yamato.lg.jp/web/kouhou/n20190201-2.html>

<https://www.tyojyu.or.jp/net/byouki/frailty/yobou.html>

お誕生日おめでとうございます

武田会員 今日のクイズ



佐々木遊子様 2月20日



SAA 武田茂会員 今日のクイズ